

令和7年度 新庄村立新庄中学校 学校評価(自己・学校関係者)評価書

評価	A:期待以上【目標を達成した】 B:ほぼ期待通り【おおむね目標を達成した】 C:やや期待を下回る【あまり目標を達成できなかった】 D:改善を要する【目標を達成できなかった】
----	---

自己評価			学校関係者評価		
項目	評価	分析・改善の方策等	項目	評価	自己評価に対する意見等
教育全般	B	<p>生徒アンケートで「学校へ行くのが楽しい」と感じられない生徒が約4割いるのが課題である。今年度も引き続き生徒の声をしっかりと聞き、日常の声掛けや教育相談等に努めています。また、生徒が頑張っている様子を学校だより・学年だより・ホームページ等でお知らせしますので、ぜひご家庭での話題にしてください。</p> <p>今年度も、学校教育目標「夢や希望を持ち、心豊かにたくましく生きる新庄っ子の育成」をもとに教育活動に取り組み、小中一貫教育を進めています。保護者・地域・学校とが協力して、よりよい教育を目指していきます。</p>	教育全般	B	<ul style="list-style-type: none"> ・質問「学校へ行くのが楽しい」については年齢に応じた質問に変えた方がよいのではないか。例えば、「学校生活が楽しい」へ。 ・「学校へ行くのが楽しい」について「C」評価があるのは課題でもあるが、子どもの発達段階を考慮すると、「楽しいか」と自問する考え方ができるのは子どもの成長と捉えることができる。 ・「夢や希望を持っている」生徒が多いのはうれしいことである。
授業改善	B	保護者・生徒ともに「分かりやすい授業にしている」「授業は工夫されて分かりやすい」について、肯定的な意見が多い。今年度も「個別最適な学び・協働的な学び」のテーマのもとに研究を重ね生徒主体の授業づくりを通して授業改善に取り組んでいる。	学習指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は研修と研究を重ね、学習指導をしている。 ・生徒が、分からぬことへの質問をもっと積極的にできたらしいと思う。 ・TTや生徒同士の協働学習で、学習の工夫があり、継続してほしい。 ・小中一貫での教育での実践交流ができている。相手の意見も聞き入れ、自分自身の考えもちちゃんと自分の言葉で伝える授業はいいと思いました。 ・学校で「過去のことを学び、未来を想像できる人」になってほしい。 ・姿勢の質問、「足の裏をピタリとつけて座つていい」は大切であるが、柔軟な対応をお願いしたい。
学習評価	A	良好な結果である。今後も生徒・保護者に分かりやすい評価の説明を行い、適切な評価をしていく。			
家庭学習の充実	B	宿題や家庭学習について課題がある。学校では、自主学習を家庭学習に取り入れるよう働きかけ、好事例を掲示し全校に紹介しています。今後も課題の質と量が向上する工夫をしていきます。また、授業や普段の「姿勢」についても意識して生活できるよう保健指導と連携します。	生徒指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関係性により影響が出ており、地域での挨拶はよくできていると思う。 ・自分の頑張りに対して周りの評価が低いと感じている生徒に対する対応をこれからも継続してほしい。 ・「いじめ」には早期に対応して、安心・安全な学校をこれからも目指してほしい。
体験的学習	A	「ふるさと新庄学」では、今年度も生徒は新庄の未来を考えて一生懸命取り組むことができた。12月には今年度のまとめを発表し、次期取り組みについて、新庄村や商工会の協力を得て計画を立てる予定である。今後も地域の方と一緒に活動をしていきたい。			
特別活動	A	村合同運動会・学習発表会・校外学習等など学校行事に対する取り組みでは、保護者・生徒ともに肯定的回答が大多数でした。これも、「新庄よいとこ」「新庄太鼓」「新庄学」など日頃からの地域からのご支援のおかげと感謝している。今後も小中合同での異学年交流も新庄学園ならではの取り組みなので、児童生徒の声を聴いて連携して取り組んでいく。今後もコミュニケーション力を高める活動を、地域の方や他校との交流を工夫し、継続したい。	保健・安全指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力づくり」については、生徒に意識できるように指標を示してほしい。情報の発信も継続。
規律・生活習慣	B	おおむね良好な結果である。ほとんどの生徒は授業規律がしっかりとしていて、落ち着いた学校生活が送れている。今後も、あいさつ・整理整頓等に関して指導を行っていく。			
共感的な集団作り	A	生徒会・縦割り班・異学年交流等の活動を通してリーダー性が身についている。今後も、学級活動・生徒会活動・部活動等を通して、お互いが高め合えるような集団作りをしていく。	家庭・地域連携	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域がよく連携できている。 ・回答に「B」の割合が高いのは、質問に対して明確な答えが思いつかないと考えられるので、具体的な取り組みを書くとよいのではないか。
教育相談	A	定期的に生徒アンケートをとって教育相談を行うことで、生徒理解に努めている。また、生徒支援委員会で、情報共有を行いながら気になる生徒や事案について協議している。気になる生徒や家庭には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも生徒・保護者と教育相談を行っている。今後も、日常の声掛けをしっかりと行い、生徒の変化を見逃さないように努めしていく。また、家庭との連携を密にしていく。			
いじめ防止	B	「いじめ」についても日頃から生徒との会話・様子に目を配り、声かけを通して「安心・安全な学校」を心がけている。また、いじめのアンケートや教育相談等も行っています。家庭と学校と関係機関で連携して取り組みます。各家庭にも何か気になることがあったら、学校の方への連絡してもらう。	保健・安全指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域がよく連携できている。 ・回答に「B」の割合が高いのは、質問に対して明確な答えが思いつかないと考えられるので、具体的な取り組みを書くとよいのではないか。
保健・安全指導	B	今年度も、「生活習慣・体力づくり」についての生徒の否定的回答が約半数を占めているのが気になります。「生活リズム」を考える資料提示や、運動する機会・楽しさを体験できるよう工夫していきます。健康診断結果の通知や保健だより・掲示物・集会等の呼びかけで、望ましい生活習慣や健康についての情報発信は行っている。			
家庭・地域連携	A	今年度も肯定的な回答を多くいただきました。餅つき体験、新庄太鼓、職場体験学習、スキー実習等、教科の授業に地域の方々に支援と参加をいただいている。また、「ふるさと新庄学」でも、村役場や道の駅等の協力をいただき、多くのアドバイスや支援をしていただいている。今後も地域との連携を大切にしていきます。学校では、生徒の様子をしっかりと見て、認めたり指導したりしていきます。	家庭・地域連携	A	